

2018年6月21日
株式会社ゼンリン

自治体向け「ゼンリン住宅地図 LGWAN」 新たな防災機能を追加した「防災パック」の提供を開始 ～自治体の危機管理部門向けサービス～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山 善司、以下ゼンリン)は、自治体における防災部署の業務効率化を目的とし、2018年4月にリリースしたクラウド型の住宅地図サービス「ゼンリン住宅地図 LGWAN^(※1)」に、新しいラインナップとして「防災パック」を加え、2018年6月28日より提供開始します。

※1 総合行政専用ネットワーク「LGWAN」環境に対応した住宅地図をベースとした GIS アプリケーション。

■「防災パック」とは

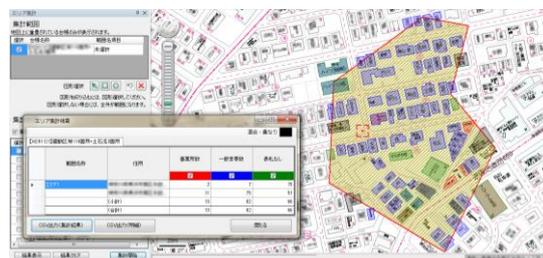
「ゼンリン住宅地図 LGWAN 防災パック」は、自治体の中でも住宅地図の需要が高い、防災関連情報を扱う危機管理部門向け新機能を追加したサービスです。LGWAN 環境に対応した住宅地図の閲覧・印刷という基本機能に加え、災害発生時に素早く・効率的な対応ができるよう、防災部署の人手を補助する機能を提供します。

■機能特長

①エリア集計

指定した台帳の中の図形や、描画したポリゴン^(※2)の中にある世帯数を自動でカウントできます。

※2 地図上で一つの領域を表現する多辺図形。面。

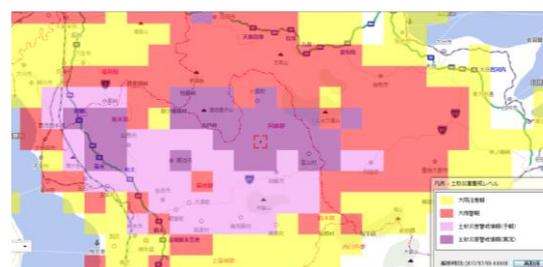


②土砂災害警戒判定メッシュ^(※3)情報表示

気象庁から配信される「土砂災害警戒判定メッシュ」情報を地図上に重畳します。(5km メッシュ)

※事前に条件を設定しておくことでメッシュに重なった時点でアラートやメールでお知らせします。

※3 一つ一つが等面積となる四角いマス目。



③UTM グリッド^(※4)表示

UTM グリッド線を地図上に重畳できます。

災害対応時における、自衛隊との情報交換を効率化します。

※4 場所を特定するための座標系の一つである「UTM 座標系」によるグリッド線。主に自衛隊を中心に場所の特定に利用される。



その他、防災パックには以下の機能も含まれます。

名称	概要
台帳管理	自治体所有の情報を地図と紐付けて一元管理できる。CSV 取込が可能。
帳票印刷	提出・保管用の帳票が、Excel を使って自由に作成・出力できる。
大判印刷	プロッター ^(※5) があれば最大 B0 サイズまでの印刷が可能。 ^(※6)
Shape file 取り込み	Shape file を台帳として取り込み、住宅地図に重畳できる。

※5 コンピューターで作成した線や図形を用紙に出力するための装置。

※6 地図の複製許諾範囲は、サービス契約の部署内部及び利用目的の範囲内に限ります。それ以外は個別にご相談となります。

<詳細> <https://www.zenrin.co.jp/product/category/residentialmap/lgwan/index.html>

<補足>

■2018年4月にリリースした「ゼンリン住宅地図 LGWAN」導入の自治体の声

すでに導入された自治体、操作された方から使用感や運用のしやすさに関して、ご好評をいただいています。

ポイント①: 操作が簡単で誰でも使いやすいシンプルな住宅地図サービス。

- ▶「操作が簡単なので、使い方を覚えやすい。」
- ▶「住宅地図を閲覧・検索・印刷するだけでよい部署にとっては、手軽な GIS として使いやすい。」

ポイント②: 地図を自由視点で見ることができ、検索もできるので情報を把握しやすい。

- ▶「冊子ではページの切れ目の部分が見づらくなってしまうが、システム上ではどこも均等に、住宅地図の中心を変えて見ることができる。」(拡大・縮小も可能)

ポイント③: 様々な情報を最新の住宅地図上で一元管理できる。(地図は自動更新)

- ▶「これまでは紙ベースの地図に、要支援者情報を一軒一軒印を付けてまとめており、地図が改訂された際には、記載していた情報を新しい地図帳に一から転記が必要だった。このサービスを使えば、地図改訂による全ての更新作業がワンクリックで完了するだけでなく、要支援者の連絡先やご家族のお名前、かかりつけ医など様々な情報を地図上で一元管理できるので、格段に便利になった。」

ポイント④: 他部署との情報共有が可能。

- ▶「保健福祉課で保有している最新の要支援者情報を、防災担当の職員と LGWAN 上で共有できるので、災害時の迅速な救援活動につながると思う。」